

式 辞

真つ白なべールに包まれていた 戸隠連峰も
顔を見せ始め 里に花咲き 鳥歌う
希望にあふれる季節が やつてまいります

本日ここに 平成二十三年度長野市立
戸隠中学校の入学式を 清新なうちに挙
行できますことに 心より感謝申し上げ
ます

三十三名の 新入生の皆さん

ご入学 おめでとうございます

職員 在校生一同 心より皆さんを歓迎
します 今日から この学舎でともに学
びあい 成長していきましょ

皆さんの入学に際し、一つの言葉を贈ります。これは 東井義雄という人が作った詩の一節です

「自分は自分の主人公

世界でただ一人の自分を創つていく責任者」

中学三年生の春 皆さんは それぞれ自分にあつた道を探し この学び舎を巣立つていきます。その時 どんな自分になっているのか。それは 自分創りの責任者である。自分が 三年間で創り上げてきた姿なのです。

教科の学習の中で、生徒会や部活動の中で、また、地域での活動等。さまざまなか場面で 自分の考えや思いや願いを どんどん出していきましよう。

うまくいかないこと 苦しいこと っらい
こと 悲しいことにも出会うことがありま
す そんな時には 学校目標「己に克つ」
を思い出し 乗り越えていきましょう た
くさん 失敗をしましょう たくさん 泣
きましょう そして たくさん 笑いまし
よう

かっこうつけずに ありのままの自分を
出していく中で 心が豊かに育ち きっと
創っていきたい自分の姿が見えてくるはずで
す 我々職員は 時には誉め、時には叱
り 皆さんの 自分創りをサポートしてい
きたいと思えます

二、三年生の皆さん

それぞれが 自分創りの責任者として
更により良い自分自身を 創り上げていく

と共に 昨年度までの上級生に そうして
もらったように 新入生を優しくサポート
してあげてください

保護者の皆様

本日はお子さまのご入学 誠におめでと
うございます

今日から 教職員一同 全力をあげて お
子さまたちの成長のために 尽力してまい
りたいと思います 何とぞ 学校教育への
ご理解とご協力を お願い申し上げます

ご来賓の皆様

本日はご多用の中 ご臨席を賜り 深
く感謝申し上げますと共に 今後とも ご
指導ご鞭撻のほどを よろしくお願い申し
上げます

最後になりましたが

改めて 三月十一日に起きた 東日本
大震災で おこくなりになられた方々の
ご冥福をお祈りしたいと思います

被災地では 現在 入学式もできない
たとえばでもそこには 共に祝いたい仲間
や親がない そんな悲惨な状況が 起き
ています 私は 今 「入学式が 当たり
前にできる喜び」を かみ締めております

しかし そんな中でも復興に向け 頑張
っている人々の姿があります おばあちゃん
を励まし 瓦礫の下から九日ぶりに救出さ
れた青年 避難所で 働きに出始めた親
の代わりに 多くの幼子の面倒を見ている
保育士希望の少女 復興に向け 頑張
っている人々の中に多くの若者の姿も あ
ります

被災地の 一日でも早い復興を 祈る
と共に 戸隠の子どもたちが 家庭 地
域 学校の一体となった教育により 被災
地の若者のような 逞しさと優しさを持つ
た 戸隠の将来の担い手として 立派に成
長していくことを願い 式辞といたします

平成二十三年四月五日

長野市立戸隠中学校長 土屋聖史